



2023年3月21日、ペトロ・千葉充助祭（小樽教会出身）叙階式がカトリック北一条教会においてベルナルド勝谷太治司教司式により執り行われ、各修道会及び小教区の代表ら百名余りが、新助祭誕生を祝福した。千葉助祭から叙階の喜びと、参列できなかった方々への感謝のメッセージが寄せられた。

『春の暖かな陽気のなか、3月21日に勝谷司教より助祭叙階の秘跡に与ることができました。これまで祈りのうちにお導き頂きました司教と司祭団の皆様へ感謝申し上げます。両親、姉と甥に見守られながら、そして、ご参列くださったシスター達や多くの信徒の皆様への強力な祈りに支えられ、心おだやかに叙階の儀に臨むことができました。東京カトリック神学院からも、親しい仲間たちが駆け付け、それぞれに典礼奉仕を務めてくださいました。また、当日はご参列かなわなかった多くの恩人の皆様からの祈りを、強く感じることができました。本当にありがとうございます。』

叙階式の早朝、小聖堂で聖書を開き、みことばを味わいました。「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ」（ヨハネ8:12）

自分自身の力に依ってではなく、主に従うことによって生かされていることの恵みを、生涯歩み続けてまいります。皆様の祈りに支えられ、多くの方達との関わりの中で、みことばへの奉仕と、ご聖体の主への奉仕に努めていく力が与えられますように。今後ともよろしくお願い致します。ペトロ・千葉充



春の陽光受け新助祭誕生  
ペトロ・千葉充助祭叙階式

## 主のご復活 おめでとうございます



### カトリック山鼻教会献堂

地域に開かれた教会をめざして

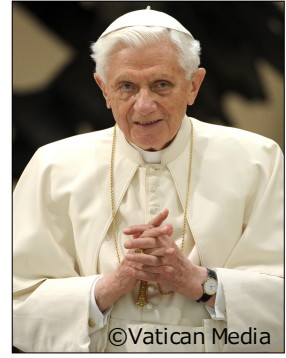


新教会建設の話が持ち上がった頃、山鼻教会のご近所で経済的困窮からお子さまに食事を十分に提供できないご家庭の事など身近な問題が新聞に掲載されていました。建設時の理念も、新教会での山鼻教会共同体は地域で「生きづらさを抱えている方」と「思いをとも」にできる、手を差し伸べられる開かれた教会でありたいという認識が共有できました。設計時には祈りの場にふさわしい聖堂、バリアフリー施設、冷暖房・換気機能施設の充実、管理のしやすさに留意しました。

新教会は2022年5月9日に土地の祝福式、同年11月17日には新教会の引き渡しとなりました。2022年12月17日には勝谷司教の司式で献堂式を無事行う事もできました。勝谷司教をはじめ、司祭団の皆様には心から感謝しております。札幌市内も新型コロナウイルス感染者数が増加傾向、毎週のクラスターも30件を超える中での献堂式でしたが、何事もなく献堂式を終える事ができ安堵しています。

新型コロナウイルス感染症が感染症法上でも2類相当から5類に移行しだい、念願であった「子ども食堂」などを通して、地域の皆さんとの交流を深めるよう努力してまいります。（カトリック山鼻教会運営委員長・松本昭久）

## 教皇ベネディクト16世逝去



©Vatican Media

名譽教皇ベネディクト16世が2022年12月31日午前9時34分（日本時間同日17時34分）、バチカンのマートル・エクレジエ修道院で95年の生涯を終え、御

父のもとに旅立たれた。

日本カトリック司教協議会会長菊地功司教は同日談話を発表し、「教皇就任以前に教理省長官として時にその厳しさが強調されたため、頑固で厳しい教皇という印象が強く残っています。実際にお会いすると、優しさに満ちあふれた牧者でありました。（中略）2011年の東日本大震災の時には、いち早く被災された方々へ心を寄せ、被災地にサラ枢機卿様をご自分の特使として派遣され、様々な

機会に、日本の司教団に慰めと励ましのことをばってくださいました。優しさに満ちあふれた『愛（カリタス）』の教皇でありました。」と述べた。

追悼ミサは1月10日11時、東京カテドラル聖マリア大聖堂に行われ、日本の司教団と教皇大使が共に祈りを捧げた。

【略歴】1927年、ヨゼフ・ラツィンガーとしてドイツに生まれる。1951年ミュンヘン教区にて司祭叙階。神学者としてボン大学、ミュンスター大

学、チュービンゲン大学教授を歴任。ケルンのフリングス枢機卿の神学顧問として第二バチカン公会議に参加。1977年ミュンヘン・フライジング大司教に任命されると同時に枢機卿に親任される。1981年教皇庁教理省長官。2005年4月19日に教皇聖ヨハネパウロ二世の後任として教皇に選出され、ベネディクト16世となる。2013年2月28日に歴史的な退位宣言後、名譽教皇として沈黙と祈りのうちに教会を支え続けられた。

## 訃報

トマス・アキナス近藤光彦神父様は、2021年8月に脳梗塞で倒れ、その後月形藤の園で療養中だったが、昨年12月より前立腺がんが入院されていた。3月7日午前2時過ぎ、入院先の月形町立病院にて神様のみもとに召された。満93歳。



3月11日は一般信徒の弔問を受け、葬儀はカトリック北一条教会にて3月12日13日に執り行われた。ご遺骨は納骨式（9月24日を予定）まで札幌教区カトリックセンター地下納骨堂・クリプト札幌に安置されており、毎日午前9時から午後4時まで自由に墓参することができ。

幌教区カトリックセンター地下納骨堂・クリプト札幌に安置されており、毎日午前9時から午後4時まで自由に墓参することができ。

### 【近藤神父様略歴】

- 1929年 6月28日 北海道札幌市生まれ
- 1947年12月 3日 北十一条教会で受洗（聖公会から転会）
- 1961年 3月21日 北一条教会で司祭叙階
- 1961年11月 1日 住ノ江教会助任
- 1965年 4月 1日 新田教会主任
- 1970年 5月 1日 北二十六条教会主任
- 1978年 4月 1日 富岡教会主任
- 1989年 4月 1日 円山教会主任
- さゆり幼稚園園長
- 1998年 4月 1日 小野幌教会主任
- 虹の森幼稚園園長
- 2006年 3月31日 虹の森幼稚園園長退職
- 2008年 4月 1日 真駒内、山鼻教会協力
- 2022年 1月17日 月形藤の園療養
- 2023年 3月 7日 帰天 満93歳

長いこと札幌地区長や幼稚園園長も歴任され、福音宣教のために教区全体、また特に札幌地区を支えてくださいました近藤光彦神父様のためにお祈りくださいますようお願い申し上げます。



## 新型コロナウイルス対策解除される

2023年2月28日付で札幌教区は「新型コロナウイルス感染拡大防止に関するミサ対応についてNo15」を通過した。これによって3月13日以降これまでの制限が次のとおり解除されることとなった。

(1)ミサや集会等の人数制限（分散ミサ等）をなくします。ただし、地域の状況、教会堂やそこに集う信徒の状況を見て、対応を主司祭の判断に任せます。

(2)マスクについては、平日のミサや主日のミサにおいて歌が歌われない場合、マスクの着用は個人の判断に任せます。ただし、教会の現状は、政府がマスク着用が効果的であるとする場合、「重症化リスクの高い人が多い」「高齢者施設」に近い状況でもあることを考慮し、対応をお願いいたします。

(3)歌ミサを許可します。ただし、歌をうたう場合はマスクをし、大声にならないよう注意することを推奨します。

(4)その他 聖水の設置、奉納行列の実施、聖体拝領の方式等の個別の対応も小教区の現場での判断に委ねます。



# 2023年4月1日付司祭人事

(実際の異動は4月9日「ご復活の主日」後となります)

2023年2月17日発表

## ◇札幌地区

- 《東ブロック》 江別・大麻・小野幌・新田・岩見沢・北広島・月寒・北一条・真駒内  
主任 松村繁彦 (北一条・新田・岩見沢・真駒内主任)  
協力 ケネス・スレーマン (江別・大麻・小野幌協力)  
協力 森田健児 (月寒・山鼻協力)  
新田協力 久保寺緑郎 (北広島・恵庭・千歳協力)  
岩見沢協力 宮部 登 (岩見沢協力)
- 《北ブロック》 北十一条・北二十六条・花川  
主任 間野正孝 (名寄・士別・留萌・羽幌主任)  
助任 チャン・タン・ラム (北十一条・北二十六条・花川助任)  
協力 山谷 篤【修道院長】 (北十一条・北二十六条・花川主任代行)  
協力 ウルバン・サワビエ (北十一条・北二十六条・花川協力)  
協力 ルカ・ボナヴィコ (北十一条・北二十六条協力)
- 《西ブロック》 円山・山鼻・手稲・小樽・倶知安  
主任 佐藤謙一【札幌地区長】 (円山・手稲・小樽・倶知安協力)  
協力 新海雅典 (円山・手稲・小樽・倶知安協力)  
協力 後藤義信 (月寒・山鼻主任)

## ◇苫小牧地区

- 恵庭・千歳・苫小牧・静内・伊達・室蘭・東室蘭・登別  
共同宣教司牧チーム  
千歳・恵庭・苫小牧・伊達担当  
モデラートル 蓑島克哉【苫小牧地区長】 (室蘭・伊達主任)  
東室蘭・室蘭・登別担当  
共同 ライヤ・フランシス (東室蘭・登別主任)  
苫小牧・静内  
協力 小林 薫 (苫小牧・静内主任)  
伊達 協力 千徳康雄 (新田協力)

※なお、札幌地区の恵庭教会・千歳教会は札幌地区のまま、司祭人事は地区を越えての司牧となります。

## ◇函館地区

- 元町・宮前町・江差  
主任 祐川郁生【函館地区長】 (元町・宮前町・江差・湯川・八雲主任)
- 湯川・八雲 主任 李 動珍 (函館地区協力)
- 当別 主任 吉元邦彦 (当別)  
函館地区協力助祭 桶田達也 (元町・宮前町・江差・湯川・八雲助任)

## ◇釧路地区

- 帯広・柏林台・池田・本別  
主任 加藤鐵男 (サバティカル)  
協力 オール・フランソワ (帯広・柏林台・池田・本別小教区管理者)
- 釧路(厚岸)・中標津・根室  
共同主任 川上剛【釧路地区長】兼【修道院長】 (北見(美幌)・網走・遠軽・紋別共同主任)  
共同主任 アルフォンソ・ポポ (釧路(厚岸)・中標津・根室協力)

## ◇北見地区

- 北見(美幌)・網走・遠軽・紋別  
共同主任 上杉昌弘【北見地区長】  
共同主任 内藤孝文 (釧路(厚岸)・中標津・根室主任)

## ◇旭川地区

- 留萌・羽幌・(旭川地区協力)  
主任 佐久間カ【旭川地区長】 (北広島・恵庭・千歳主任)
- 稚内・枝幸・名寄・士別  
主任 今田玄五 (稚内・枝幸主任)
- 旭川五条・旭川六条・神居・大町・富良野  
主任 長尾俊宏【修道院長】 (旭川五条・旭川六条・神居・大町・富良野主任)  
助任 中村道生 (旭川五条・旭川六条・神居・大町助任)
- 滝川・(旭川地区協力)  
主任 マンフレード・フレドリッヒ (滝川)
- 砂川・美唄  
主任 ナルチゾ・カバツォラ (砂川・美唄)

## ◇教区

- 解任 佐久間カ (副本部事務局長)

## ◇教区外

- 海外へ レイナルド・レガヤダ (北一条・北十一条協力)
- 帰国 朴 宰奭 (病氣療養のため)
- 来道 ジャネシン・ポルトリーノ [長崎聖フランシスコ修道院より札幌フランシスコ修道院へ]

# 2022年カトリック札幌司教区教勢報告書

2022年1月1日～12月31日

教区総面積	78,421 km <sup>2</sup> (北海道地勢2022年12月31日現在)
教区総人口	5,140,388 人 (住基台帳NWS2022年12月31日現在)

		※ ( ) は前年値
在籍信徒数	14,958 人	( 15,293 人 )
教役者合計	298 人	( 312 人 )
信者総数	15,256 人	( 15,605 人 )
求道者数	67 人	( 96 人 )
洗礼者数	86 人	( 115 人 )
初聖体	49 人	( 58 人 )
堅信	49 人	( 57 人 )
居所不明	1,439 人	( 1,512 人 )
死者	232 人	( 237 人 )
婚姻件数	41 組	( 16 組 )
信徒同士	4 組	( 2 組 )
信徒と他キリスト教	0 組	( 0 組 )
信徒と非キリスト教	31 組	( 9 組 )
他宗教同士	6 組	( 5 組 )

教会現勢報告にご協力いただきましてありがとうございました。

教会名	信 徒 数			異 動					
	男	女	合計	転入	転出 ※1	幼児洗礼	成人洗礼	死者	求道者
1 岩見沢	107	146	253	0	0	0	1	6	1
2 恵庭	44	51	95	0	0	1	0	3	0
3 江別	51	72	123	1	2	0	2	2	1
4 大麻	93	139	232	2	0	0	0	3	0
5 北一条	294	506	800	24	9	2	13	15	10
6 北十一条	661	1,136	1,797	6	18	4	4	26	2
7 北二十六条	263	409	672	6	6	4	0	17	3
8 北広島	182	293	475	1	2	2	1	2	0
9 倶知安	29	47	76	0	0	0	0	2	0
10 小野幌	181	298	479	3	6	0	3	6	1
11 新田	52	82	134	5	3	0	0	4	0
12 小樽	79	227	306	7	0	0	1	6	1
13 千歳	62	123	185	8	6	4	4	6	1
14 月寒	228	390	618	3	9	2	0	10	4
15 手稲	171	258	429	1	0	0	1	12	1
16 花川	71	109	180	1	5	0	0	4	2
17 真駒内	214	346	560	7	2	0	1	11	0
18 円山	363	618	981	7	5	0	10	12	3
19 山鼻	227	378	605	5	173	0	2	6	0
<b>札幌地区計</b>	<b>3,372</b>	<b>5,628</b>	<b>9,000</b>	<b>87</b>	<b>246</b>	<b>19</b>	<b>43</b>	<b>153</b>	<b>30</b>



教会名		信 徒 数			異 動					
		男	女	合計	転入	転出 ※1	幼児洗礼	成人洗礼	死者	求道者
20	江差	1	12	13	4	1	0	0	0	0
21	当別	59	72	131	0	0	0	0	4	0
22	宮前町	248	388	636	6	2	0	3	9	0
23	元町	81	154	235	1	2	0	0	4	1
24	八雲	24	48	72	0	1	0	0	1	0
25	湯川	205	344	549	1	0	0	0	9	0
<b>函館地区計</b>		<b>618</b>	<b>1,018</b>	<b>1,636</b>	<b>12</b>	<b>6</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>27</b>	<b>1</b>
26	網走	28	29	57	0	0	2	0	0	2
27	遠軽	13	17	30	0	0	1	0	0	1
28	北見 ※2	91	174	265	0	0	0	2	0	4
29	紋別	6	6	12	0	0	0	0	0	2
<b>北見地区計</b>		<b>138</b>	<b>226</b>	<b>364</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>9</b>
30	旭川五条	103	169	272	1	9	1	1	2	2
31	旭川六条	98	156	254	4	5	0	1	4	1
32	枝幸	9	7	16	0	0	0	0	0	0
33	大町	55	121	176	0	1	0	1	5	0
34	神居	42	64	106	6	0	0	0	2	0
35	士別	19	25	44	0	0	0	0	0	0
36	砂川	23	44	67	1	1	0	2	1	8
37	滝川	46	69	115	0	1	0	1	1	0
38	名寄	25	54	79	1	7	0	0	0	0
39	羽幌	10	16	26	0	1	0	0	0	0
40	美唄	17	45	62	0	0	0	0	0	8
41	富良野	26	45	71	0	2	0	1	0	2
42	留萌	55	97	152	0	1	0	0	1	0
43	稚内	42	43	85	1	0	0	0	0	0
<b>旭川地区計</b>		<b>570</b>	<b>955</b>	<b>1,525</b>	<b>14</b>	<b>28</b>	<b>1</b>	<b>7</b>	<b>16</b>	<b>21</b>
44	池田	19	33	52	0	0	0	0	1	0
45	帯広	158	228	386	5	2	0	1	5	0
46	釧路 ※3	227	344	571	1	14	1	1	5	2
47	中標津	57	101	158	1	0	0	0	1	1
48	根室	5	20	25	0	1	0	0	1	0
49	柏林台	80	123	203	1	0	1	1	3	0
50	本別	10	13	23	0	0	0	0	0	0
<b>釧路地区計</b>		<b>556</b>	<b>862</b>	<b>1,418</b>	<b>8</b>	<b>17</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>16</b>	<b>3</b>
51	苫小牧	192	297	489	5	2	0	1	8	0
52	静内	18	17	35	0	1	0	0	0	1
53	伊達	60	111	171	3	3	0	0	3	1
54	登別	33	38	71	2	0	0	0	3	0
55	東室蘭	36	90	126	0	0	0	0	5	0
56	室蘭	43	80	123	1	1	0	2	1	1
<b>苫小牧地区計</b>		<b>382</b>	<b>633</b>	<b>1,015</b>	<b>11</b>	<b>7</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>20</b>	<b>3</b>
<b>合 計</b>		<b>5,636</b>	<b>9,322</b>	<b>14,958</b>	<b>132</b>	<b>304</b>	<b>25</b>	<b>61</b>	<b>232</b>	<b>67</b>

※1 今年度分より居所不明10年以上の場合は転出扱いとなり信徒総数より差し引くこととなった。

※2 (巡)美幌教会含む ※3 (巡)厚岸教会含む

## 司祭生涯養成プログラム

2023年1月12日(木)から19日(木)までの8日間、別府にあるイエスのカリタス修道女会亀川修道院にて「2023年度司祭生涯養成プログラム」研修が行われ、全国から司祭叙階4～6年たった司祭22名(札幌教区からは佐藤謙一師(2016年4月叙階)、佐久間力師(2018年3月叙階)の2名)が参加した。

この研修の目的は司祭同士の兄弟的絆を強め、喜びをもって宣教する意欲を向上させることを目指すものである。参加司祭が共同生活の中で祈りと実生活の振り返り、自分の視野を広げる講話や体験学習、分かち合いを通してさらなる司祭生活の歩みを明確にしていく。プログラムは「振り返り」「分かち合い」「識別」の作業となるが、とても内容が濃いもので、

参加した司教が5名もいたことから司祭の養成を大切にしたいという思いが感じられた。

前半は生活の振り返りか



ら今までの人生を振り返り、自分を浮き彫りにしていくという作業が行われた。後半は自分の性的指向を認識していく作業が行われ、研修の中心にあるセクハラやパワハラ、性虐待についての講演を聞き、自分にその傾向がないかを考えさせられるものであった。

22名の司祭は神学生時代を過ごした者がほとんどで懐かしさと同時に各地で司祭として頑張っていることを知ることができてこれらの司祭生活の励みとなった。研修の内容を振り返って、あらためて司祭として生きることの難しさを感じながらも喜びをもって歩んでいきたいと思います。(佐藤師)

## 北海道カトリック学園 三校合同研修会

3月29日、札幌教区カトリックセンターにおいて、対面とオンラインを併用したハイブリッド形式で標記研修会が行われた。北海道カトリック幼保連盟に加盟する59のカトリック園(幼稚園・こども園・保育園)から対面21名、オンライン30名が参加した。

講演Iは祐川郁生神父による「カトリック園で働くということ」。初めてカトリック園に勤務する職員向けに宗教やカトリックについて



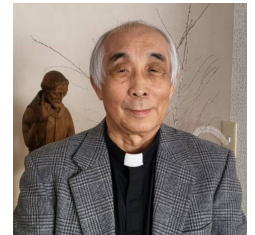
て、また、聖書本文を引用したイエスの教えについて分かり易くお話しいただいた。講演IIは、渡邊清子シスターによる「カトリック園に勤務する教職員の心得」と題し、日々の園生活で教職員が活かせるカトリック園として大切にしたい実務的な内容だった。続いて少人数に分かれたグループワークの時間では、研修委員が進行係となり、会場とオンラインそれぞれで話し合い、最後の全体会では各グループの分かち合いが行われた。

乳幼児期の子どもの心に、大切にされた温かい思い出を残す使命を教職員一人ひとりが担うことを心に留め、4月から始まる新しい生活に希望と力を戴く研修会となった。(品田典子)



新田教会協力司祭  
千徳康雄

数字の3にまつわる  
思い出のつづり



※千徳師は2023年4月に伊達教会へ異動となります

上智入学時説明会の一場面。羅哲学科の必須語学はラテン語でした。教務担当者曰く。第二語学をも含めて更にもう一か国語が必要になるでしょう。英語で入試に失敗した私は、内心、こりゃあー大変だ！三か国語もなんて。この先を危ぶむ悲鳴…。

異動先のスナップショット① 宮前町教会から新田教会へ異動して3年目になります。四季は沢山の恵みを私に授けてくれました。春はたんぽの脇道に芽吹く草花、夏は防風林越しにわく入道雲、秋は澄んだ虫の鳴き声、これらは私を励まし、力づけ、癒してくれています。冬は…。

異動先のスナップショット② 司祭叙階後7年目33歳の時です。札幌地区から函館地区へ助任として元町教会に異動になりました。洋館造りの司祭館で長老エルベ師、主任グロッド師、そして私と3人住まいの生活が始まりました。天井が高い居室の窓から函館山が一望できる元町界

隈は、古くは寺町と呼ばれるだけあって、ハリストス正教会、ギリシャ教会、東本願寺等が肩を並べていました。鐘の音色の違いはなかなかおつなものでした。電動仕立てや人パワーによる打ち方の差によるものです。

半世紀前99歳で帰天したエルベ師。亡くなる前まで居室にうかがう度に、何時も専門誌に目を通していた姿は印象深かったです。更に2階のエルベ師の寝室と私の寝室は、壁を挟んで左右対称でした。エルベ師が起床時に使う洗面台の響きは寸分の狂いもありませんでした。おかげで目覚まし時計を使わずじまいでした。叙階後すぐ来日された一度も休暇を取らず、一生を捧げつくした宣教魂を垣間見た3年間の一コマでした。

最後に一言、最近の悲鳴は…。「やーや、日本語がおかしくなっちゃった」。友人の司祭曰く「あんたは、昔からだ」



# アイヌ民族との共生を目指して

カトリック小樽教会 新海雅典神父

## 第三回アイヌ民族の文化と宗教儀礼

アイヌ民族の文化の特徴の一つが「アイヌ語」の伝承である。世界の先住民族の多くが独自の文字文化を有しない代わりに、豊かな言語文化を伝えている。アイヌ民族のユーカラ伝承者知里幸恵が訳した『アイヌ神謡集』には、コタンコロカムイ（コタンの守り神シマフクロウ）の歌が語られている。「シロカニペ ランラン ピシカン 銀のしずく 降る降る まわり」に コンカニペ ランラン ピシカン 金のしずく 降る降る まわり」に。

「アイヌ」という言葉は「カムイ（神）と向き合う人間」という意味をもつ。アイヌの世界観では、すべてのものは三つのグループに分類される。第一は神の存在で、人間を超える力を持つもの。キンカムイ（熊）や、家（チセ）の中に炉（アペオイ）を切り「火の神」（アペフチカムイ）を祭る。第二は人間のグループ。第三は人間がつくり用いるものとして衣服や道具など。

ここでアイヌ民族の重要な祭儀である「イオマンテ」に触れておこう。一般的に「熊祭り」と呼ばれているが、動物の霊を神の国に送り返す儀式である。はじめに残雪の残る早春に子グマを探し出してコタンに連れ帰り、大切に育てる。二歳に成長したキンカムイをコタンの中央に導き出し、カムイノミ（祈り）を捧げる。ウポボ（祭り歌）やリムセ（輪踊り）を

演じた前夜祭の後、イオマンテ当日に花矢を射ってクマの霊を肉体から分離させ、土産を持たせて神の国へ送る。クマの霊は神の国から返礼として多くの恵みをコタンにもたらす。

さて、平取町二風谷では毎年8月20日に、「新しい舟おろし」の儀式（チプサンケ）がおこなわれる。故萱野茂氏は、巨木の丸太を自らの手で削って太い丸木舟をつくり、それを沙流川へと漕ぎ出していた。初めに樹の神にカムイノミ（祈り）を捧げ、水辺にても再び祈りを捧げる姿に、アイヌ民族の深い精神性を見せていたと聞くようになった。（つづく）



「新しい舟おろし」のために、丸木舟を製作中の故萱野茂氏。後ろは筆者。1991年撮影

### 札幌で求められる

### 日本語支援・外国人支援

1月22日（日）午後、カトリックセンターにおいて札幌市が検討している「(仮称) 国際交流・多文化共生基本方針」を考える懇談会が開催され、約70人の関係者が集まった。行政側からは、札幌市総務局国際部交流課、札幌市教育委員会学校教育部、札幌市教育センター、札幌国際プラザが参加し、基本方針の概要やそれに伴うそれぞれの取り組みについて報告された。

意見交流では教育現場に向き、子どもたちの日本語及び学習支援をしている団体、母語支援を行っている団体、市立札幌大通高校、札幌市立星友館中学校（公立夜間中学校）、北海道朝鮮初・中・高級学校などからそれぞれの現場における現状と課題が報告された。また、実際に支援を受け、現在大学に通う学生からの発言もあった。高齢化した方への日本語支援の報告もあり、課題の広さを感じられた。外国に繋がる人々の声に耳を傾け、共に考える機会を構築していきたい。（西 千津）

## 白石共同墓

札幌市白石区平和通10丁目北5-1  
札幌市白石本通墓地

札幌教区の司祭・修道者・信徒ならびにその家族を対象とした共同墓（合葬）2023年増設予定



## クリプト札幌

カトリック札幌司教区納骨堂

札幌教区カトリックセンター地下  
家族壇568区画・合葬壇730  
天候問わずいつでも墓参可能

お問い合わせ 〒060-0031 札幌市中央区北一条東6丁目10 札幌司教区本部事務局  
電話 ■白石共同墓：011-241-2785 ■クリプト札幌：011-221-4244  
いずれも平日9:00~17:00（土曜日・祝日及び夏季・冬季休業を除く）

### ■お知らせ■

ピース9の会主催講演会  
（月寒・はまなす）

「安保3文書と憲法9条」  
6月10日（土）13:30~15:30

講師：清未愛砂さん

（室蘭工業大学大学院教授）

場所：カトリックセンター

参加は自由です



## 教区正義と平和協議会勉強会

### カトリック教会はなぜ死刑廃止を目指すのか

教区正義と平和協議会は、1月21日（土）、イエズス会司牧センターの柳川朋毅氏を講師に迎え標記学習会を開催した。参加者は約50名であったと聞いている。



学習会は参加者の理解を深めようと二部構成にされ、第一部「死刑制度とは」、第二部「カトリックは死刑をどのように捉え取り組んでいるか」についてお話しいただき、質問や分かち合いの時間も設けられた。

柳川氏はパワーポイントを用いながら大変分かりやすく説得力のあるお話をされた。私は以前、被害者遺族の感情を考えると死刑もやむを得ないと考えていた時期もあったが、お話の中で初めて「修復的司法」という手法を知った。日本では馴染みが薄いようで、知識も貧しい私にはうまく説明が出来ない。ただ、被害者が置き去りになって

いたこれまでの司法のやり方を直視し、犯罪を地域社会に引き起こす被害者・加害者・地域社会が一緒になって、関係者の和解、修復をしていくことが目的という。思わず頷いた。

その後、お話はカトリックの取り組みになり、教義を改訂したカテキズムを詳説することになるが、教皇の「すべての命を守る」との呼びかけが根底にあるように思われた。

良いひとときだった。ただ、私自身は死刑廃止だが、立場は第三者である。死刑存否を考えると、身内がもし被害者になったらどうだろうかとか、そんなとき加害者に「赦します。」と告げるには相当な葛藤があるだろうかとか、赦すとしても償いとしての刑罰の執行は被害者遺族の思いに関係なく行われるだろうなど、頭に浮かんでくる。その意味で、被害者遺族の気持ちはどんなものかと伺ってみたい、そんな思いを募らせている。

（北一条教会 石井志郎）

※限定公開になっているが、当日の様子がYouTubeで視聴できる。 <https://youtu.be/13Un0SLcMIE>

2016年、エキユメニカルで「共に神を賛美しよう！」という理念を掲げたさっぽろ教会音楽祭からカトリックの聖歌隊出演のお誘いがありました。各方面への聴取を経て、札幌市内近郊の教会に声をかけたところ8教会から40名の応募があり、指導を近江宏氏（北一条教会）にお願ひし、阿部包氏（手稲教会）により「collium canonicum コレギウム・カンテイクム」歌う仲間」と命名された聖歌隊が発足しました。

## 歌で平和の祈りを神に捧げたい

コレギウム・カンテイクム～小教区を越えた活動～

このような時間は「歌う仲間」という名前通りとても必要なことで、隣の教会の人、またその隣の教会の人と交わっていくことができるのです。そして月日が経ち毎年音楽祭に出ているうちに、仔羊たちは怖いもの知らずとなり、各教会で



中を押して頂いたことでしよう。これからは一つ一つの教会としてではなく、小教区を横断して活動する繋がりを持つことが大切であり、皆仲間であるという時代を迎えることの必要性を痛感しています。

コロナの流行で練習は中断していましたが2022年6月より再開。Withコロナで感染防止対策を話し合ったり、また不安を感じて休む人に心の負担がかからない環境を整えたり、考えることや実行することは山積していますが、とにかく動き出しました。

再開後の練習で「ドナ ノービス パーチェム（平和を我らに）」を歌いました。この世界情勢の中で、今後も私たちは「domina nobis pacem」と歌い、平和の祈りを心から神に捧げたいと思います。そして、これからも小教区を超えての交流と「出向く教会」の意義を踏まえて活動していきたいと思えます。

クリスマスチャリティーコンサートを企画するようにもなりまして。小さなバザーを併設する教会もありました。自分の教会に回ってきたメンバーは本当に嬉しそうでした。

■コレギウム・カンテイクム（歌う仲間）・練習不定期月2回土曜日午後1時～3時、場所はカトリック北一条教会。問い合わせ先・カトリック北一条教会 011-231-4189

報道番組などで「宗教2世」と呼ばれる方々の発言を聞き、「ドキッ」とした。親に連れられて教会に行き、親はいつも教会活動に熱心だった。最近は今も教会にも私の活動にも一緒に来なくなった我が家の子どもたち（20代）に何気なく聞いてみた。

「自分たちも宗教2世だと思う？」

彼らの答えは、「どうか？2世の定義がわからない。それにうちにはそんなにお金はないし。」「お金がないのはそのとおりではあるが、何だか彼らの答えにホッとした。私自身は、大人になってからの洗礼なので、「信じた」実感がある。だが、子どもたちは信じた実感はあまりなく、親が幼児洗礼を望み、初聖体も堅信も言われるがまま行ってきたところがある。

北一条教会で行われている英語ミサは、1989年に始まった。その頃は、フィリピン人の親に連れられて、子どもたちもたくさん来ていたが、その子どもたちの中で今も教会に繋がっているのは、ごくわずかである。ある調査で外国籍の親世代にとって教会は、情

報交換の場であり、同国人が集まると母国を感じ、安心できる場所として存在しているが、子世代にとっては退屈で、行く意味がわからず、親が感じているような場所にはなっていないという報告があった。但し、ユースグループのようなものがあると、自分と同じような環境の子と出会う場になり、学校に居場所を見つけられなかった場合などは、唯一の拠り所となっているという。

一方で、ベトナム青年たちを見てみると、その信仰はどこから来ているのだろうかと思うほど祈る。祈ることに

「いつか教会に戻るから」という話も聞くが、現在の教会を見てみるとどうとも思えない。とはいえ、「宗教2世」という言葉のおかげで、彼らと話すきっかけを与えられたように思う。

（札幌教区難民移住移動者委員会・西 千津）

## ともに生きる

### 宗教2世

### 性虐待被害者のための祈りと償いの日

3月10日(金)、第7回目となる性虐待被害者のための祈りと償いの日、カトリック北一条教会では勝谷太治司教司式によるミサが行われた。

勝谷司教は説教冒頭で、人間の命と尊厳を守るべき教会にあつて、聖職者や霊的指導者による性虐待事例が後を絶たず、被害者に長きにわたる苦しみを与えてきたこと、そしてそのことについて無関心や隠ぺいを繰り返してきたことについて、教会として心から謝罪すると述べた。

日本のカトリック教会は、2021年2月「未成年者と弱い立場におかれている成人の保護のためのガイドライン」の決議、2022年「子どもと女性の権利擁護のためのデスク」を司教協議会会長直属とし「ガイドライン運用促進部門を別途設置するなど態勢整備が進んでいるが、勝谷司教は「残念ながら聖職者及び教会全体の意識改革はまだ途上である」と述べ、今後教区における体制の見直しを進めるとした。

札幌教区では「ハラスメント対応デスク」が道内小教区を巡回して啓発活動を行ってきたが、コロナにより活動が停滞している。また2020年3月に「札幌教区ハラスメント

宣言」が発効され、聖職者のみならず信徒間のハラスメントについても根絶することを周知してきた。教区のコロナ制限解除によりデスクでは今後小教区啓発訪問や、信徒を対象としたハラスメント意識調査の実施など、活動を再開する予定だ。デスクでは「ハラスメントは『聖職者による』という一方だけではない、逆もあるし、信徒間のハラスメントも根深い。被害者のみならず、見たり聞いたりしたかたも、困ったときには是非デスクへ電話してほしい」と呼び掛けている。(末項参照)

## 訃報

### ◆フランシスコ会



ミカエル 湯澤 民夫

1月31日午前3時半、幹細胞癌のため、東京・瀬田聖アントニオ修道院で帰天されました。75歳。

#### 【略歴】

- 1947年10月9日生まれ
- 1973年3月17日着衣
- 1977年9月29日荘厳誓願宣立
- 1978年3月11日司祭叙階

### ◆殉教者聖アオルギオのフランシスコ修道会



Sr.M. アグネーゼ 松山 恵子

1月5日午前7時35分、札幌マリア院にて神様のみもとに召されました。78歳。

#### 【略歴】

- 1945年1月6日生まれ
- 1964年12月8日受洗
- 1972年4月16日入会
- 1983年8月12日終生誓願



Sr.M. アンジェリス 林 七枝

1月16日午後9時54分、花川マリア院にて神様のみもとに召されました。95歳。

#### 【略歴】

- 1928年1月7日生まれ
- 1960年10月2日受洗
- 1964年9月8日入会
- 1974年8月12日終生誓願
- 2016年11月23日誓願金祝





# プティジェズに引き寄せる宣教の一助に

## 幼きイエズス修道院（十勝カルメル会修道院）



私たちの修道院は、1990

年11月14日カルメル会の諸聖人の祝日に、幼きイエズス修道院の名称をもって創立されました。イエズスの聖テレジア修道院が伊達に移転してから九年目の年でした。当時召命が多く、徐々に21名の定員を超えて志願者が集まり21名を超えてはならないというカルメルの会憲に従って新たな修道院の創立が計画されました。色々と思案を重ねているうちに、神様の計り知れないみ摂理によって、この十勝に日本で八番目のカルメルとして創立され、今年33年目を迎えます。創立に当たって沢山の方々の善意とご厚意に助けられて、創立されましたことを思い起こす度に言葉には尽くせない感謝の念に包まれます。今はこの世を去り天国で見守っていて下さる方々お一人お一人も懐かしく思い出されます。観想修道会という囲いの中で生活する私たちは



ごミサにおいて、愛と一致のしるしであるご聖体の宴に与ることの幸せを有難く感謝し、喜びに満たされています。雨の日も雪の日も朝早くからごミサに来て下さる神父様方に感謝するばかりです。



カルメルの霊性の一つに幼きイエズス様への信心があります。沢山のプティジェズで溢れています。姉妹達は「ブッチャー」御徳を真似て単純に謙遜に祈りの生活を生きていました。私達の修道院にも玄関から上がったホールにプラーグの聖なる幼子のご像が置かれています。君臨しているといってもいい程に大きな立派なご像が堂々と立っていて、修道院を訪れる方々をお迎えしています。院内では、カルメル会の神父様方から頂いた

プティジェズの聖画やご像など、御徳にあやかれるよう祈りのうちに黙想します。神のみことばが、ご自分に引き寄せるために小さくなつて、この世に來られた計り知れない大きな神祕を黙想するのは何と尊く意義深いことでしょう。創立以来生計のためにしているチョコレート・クッキー作りのお仕事も多くの方々の寛大なご愛徳によって支えられています。沈黙と孤独のうちに祈りつつ奉仕する生活、この小さな奉仕を通して神様の存在、神様の愛と慈しみを伝え、プティジェズに引き寄せる宣教の一助になりまします。すなわちこの上もなく嬉しく、喜ばしいことです。

### あとかたり 編集後語

全国の知人から、突然いろいろな理由で電話が入り、切れていた繋がりが復旧し始めた。マスクからの解放と共にお口と気持ちの解放もあったのかもしれない。行動についてはもちろんまだまだ予断を許さない。しかし怖れに留まらず、チャレンジを選ぶ時がやってきたのかもしれない。チャレンジには失敗がつきもの。失敗だけならいいがケガもするかもしれない。でも子供たちはそれを乗り越えて痛みを学び、成長し次につなげる。安全地帯から出る時。

今年の「春の陽気」は、立ち止まっていた私たちの背中を人々の前に押し出している聖霊の働きではないだろうか。  
(松村繁彦)

カトリック札幌司教区  
ハラスメント対応デスク

080-2879-3168

火曜～金曜  
12:00～16:00  
祝日夏季冬季休業日除く

メール sapporo.harassment  
desk@gmail.com